

看護功労者知事表彰推薦個人票

推薦機関・団体名			記入担当者	
ふりがな 氏名			性別	
生年月日			年齢(歳)	
現住所	〒		TEL ( )	
最終学歴			卒業年月日	
免許	保健師	年 月 日 取得	助産師	年 月 日 取得
	看護師	年 月 日 取得	准看護師	年 月 日 取得

区分	勤務先名・職名等	在職期間	雇用形態	在職年月数	備考	
職歴	<県外>					
		自				
		至				
		自				
		至				
		自				
		至				
	<県内>					
		自				
		至				
	自					
	至					
団体歴		自				
		至				
公職歴		自				
		至				
		自				
		至				

区分	表彰年月日	表彰名(受賞功労名)	表彰者
表彰歴			
資格認定	資格種類	認定団体	取得年月日

区分	発表学会名等(発表年月日)	主催団体名	規模	研究テーマ	発表形式
研究実績			全国・県内		・口演発表 示説発表 ・論文 : 原著・他 ・その他 ( )
			全国・県内		・口演発表 示説発表 ・論文 : 原著・他 ・その他 ( )

功績概要					
------	--	--	--	--	--

## 看護功労者知事表彰推薦個人票

推薦機関・団体名	〇〇〇〇	記入担当者	〇〇課 〇〇〇〇
ふりがな	ちば はなこ	性別	女
氏名	千葉 花子		
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	年齢(歳)	60 (※1)
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇△丁目△番△号 TEL ( )		
最終学歴	〇〇県〇〇看護大学 健康学科	卒業年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
免許	(保健師) 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 取得	助産師	昭和 年 月 日 取得
	(看護師) 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 取得	准看護師	昭和 年 月 日 取得

区分	勤務先名・職名等	在職期間	雇用形態	在職年月数	備考	
職歴	<県外>					
	〇〇県〇〇市立〇〇病院 看護師	自 S〇〇. 〇〇. 〇〇 至 S〇〇. 〇〇. 〇〇	常勤	〇年〇月	(※1) 4月1日現在での 年齢を記入してく ださい。 (※2) 「現在」の場合の 在職年月は、今年 度末(3月31 日)として計算し てください。	
	〇〇県〇〇看護大学 講師	自 S〇〇. 〇〇. 〇〇 至 H〇〇. 〇〇. 〇〇	非常勤	〇年〇月		
	<県内>					
	(医) 〇〇会〇〇病院 看護師	自 S〇〇. 〇〇. 〇〇 至 S〇〇. 〇〇. 〇〇	常勤	〇年〇月		
	同 看護師長	自 S〇〇. 〇〇. 〇〇 至 H〇〇. 〇〇. 〇〇	常勤	〇年〇月		
	千葉県〇〇看護大学 准教授	自 H〇〇. 〇〇. 〇〇 至 H〇〇. 〇〇. 〇〇	常勤	〇年〇月		
	〇〇市保健センター 保健師	自 H〇〇. 〇〇. 〇〇 至 現在 (※2)	非常勤	〇年〇月		
	団体歴	(一社) 〇〇協会理事	自 H〇〇. 〇〇. 〇〇 至 現在 (※2)			〇年〇月
公職歴	千葉県〇〇審議会委員	自 H〇〇. 〇〇. 〇〇 至 現在 (※2)		〇年〇月		

区分	表彰年月日	表彰名(受賞功労名)	表彰者
表彰歴	昭和〇年〇月〇日	〇〇功労賞	(社) 〇〇協会
	平成〇年〇月〇日	〇〇市〇〇賞	〇〇市長

資格種類	認定団体	取得年月日
3学会合同呼吸療法認定士	日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔学会	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
認定看護管理者	(公社) 日本看護協会	平成〇〇年〇〇月〇〇日

区分	発表学会名等(発表年月日)	主催団体名	規模	研究テーマ	発表形式
研究実績	千葉県〇〇〇〇〇学会 (平成〇〇年〇〇月〇〇日)	(公社) 千葉県〇〇 協会	全国・ 県内	「〇〇〇〇」	・口演発表 ・論文 : (原著) ・他 ・その他 ( )
	第〇回日本〇〇看護学会 (平成〇〇年〇〇月〇〇日)	(一社) 日本〇〇看 護学会	全国・ 県内	「〇〇〇〇」	・口演発表 ・論文 : (原著) ・他 ・その他 ( )

功績概要  
氏は、昭和〇〇年〇〇月に〇〇病院に看護師として採用され、〇年間入院患者の個別性を重視した看護を提供すると共に、患者の家族支援にも力を注いだ。その経験を生かし昭和〇年〇月に、卒業校である〇〇大学に非常勤講師として勤務し、看護専門職を目指す学生に対する教育に携わった。昭和〇年千葉県内に住居を移すと同時に〇〇病院へ入職し、昭和〇年〇月からは看護婦長として、同病院の看護業務改善及び医療安全管理に尽力した。この間、昭和〇年〇月には〇〇の導入により看護業務の効率化に貢献するとともに、看護研究にも継続して取り組み〇〇な勤務態度により若手職員の模範となった。